



花園へ向けて



ラグビー部主将 小藺 恭平

私たちラグビー部は、10月19日～11月10日行われた全国高等学校ラグビーフットボール大会において、2年ぶり12回目の花園出場を決めました。

準決勝・決勝では、雨の中、厳しい試合でしたが、皆さんの熱い声援のおかげで、鹿児島実業高校を31-12、大宮高校を28-7で破り、花園への切符を手にすることが出来ました。

今回、私たちが花園へ出場できるのも、指導して下さいました先生方、OB会や保護者会の方々の手厚いサポートがあってこそだと思います。

これから、花園へ向けて、自分たちの持ち味である、倒れないアタック、前へ出るディフェンスをさらに磨き、初戦に挑みたいと思います。花園でも熱い応援をよろしくお願いします。

1 回戦 12 月 28 日(土) 14:00 対 國學院栃木

鹿児島県高等学校工業クラブ連盟 第22回生徒発表大会

11月15日(金)に知覧文化会館・知覧勤労者体育センターにおいて、生徒発表大会が開催されました。この大会は、県内の各工業高校の生徒が集まり、各学校で行われてきた一年間の研究成果を発表・競技するものです。本校からは、各競技(ロボット2チーム・マイコンカーラリー17台・アイデアコンペ再生部門3チーム、クラフト部門2チーム・計算技術1チーム)と生徒研究発表に合わせて総勢71名の生徒が参加しました。各競技会場では白熱した試合や、緊張した雰囲気の中で競技の審査会が行われていました。競技入賞結果は表に示します。生徒たちは、他校の同じ高校生たちと競技し、白熱した試合を見学し、研究発表を聞き、良い刺激を受けました。大会参加を通じて得たそれぞれの感動を、各クラスメイトの皆さんにも伝え、これからの学習活動に活かしてほしいと思います。

大会ポスターの部	最優秀賞	In 3	山 口 皓
大会テーマの部	優秀賞	In 2	前 田 みなみ
マイコンカーラリー競技			
団体	学校賞		
アドバンスドクラス	準優勝	S 3	平木場 風 太
	3 位	S 3	永 田 和 彰
ベーシッククラス	3 位	1-5	高 倉 正 志
アイデアコンペ			
再生部門	優秀賞	K 3	柳ヶ水 も も
		1-1	栢 木 省 吾
		1-5	鮫 島 吉 貴
クラフト部門	最優秀賞	In 3	石室屋 直 樹
		In 3	松 田 駿之介
		In 3	松 山 由 佳
		In 3	吉 村 眞 美
	優秀賞	In 3	大 平 真 央
		In 3	中 田 絵 里
		In 3	吉 留 千 夏
		In 3	北 山 沙 樹



インターンシップの感想

平成25年11月11日（月）～13日（水）355名参加



株式会社東条設計

建築技術系 2年 柳原 未来

私は、株式会社東条設計さんにお世話になりました。パソコンで図面や表を描くCAD実習や、建物の模型づくり、定例会議の見学、建設途中の建物の現場見学などをさせていただきました。

定例会議では、建設予定の事務所ビルの床のタイ

ルの素材や、手すりの色などを話し合っていました。少人数の会議でしたが、意見交換が途切れることなく、1人1人が積極的に会議に参加している姿勢が見え、感銘を受けました。多くの人が関わっていく建築業の中での、コミュニケーションの重要性を改めて実感しました。知識や技術はもちろん大切ですが、それと同じくらいコミュニケーション力を身につけられるよう、色々な人と積極的に話をすることを心掛けたいです。貴重な体験をありがとうございました。



鹿児島市水道局河頭浄水場

建設技術係 2年 櫻井 輝

河頭浄水場では、河川や湧水等の水を集めて国が定めている100以上の試験に合格した後に、塩素消毒を行っていることを知り、日本の水道水が、なぜ安全で安心して飲めるのか理由を学ぶことが出来ました。また、皇徳寺ポンプ所では、ポンプの仕組み

について学習し、地震等の断水対策として2系統で水を送っていることを知りとても感心しました。

私は、今回のインターンシップで中学校時代にあった職場体験とは違い、仕事の大切さや責任感等を学ぶことができました。蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水道水は、長い時間と労力をかけて支えられています。自分自身の生活を見直し、今回の経験を将来に活かしていきたいと強く思いました。



株式会社九電工

電気技術系 2年 有川 航弥

私は、インターンシップで九電工株式会社にお世話になりました。初日は、現場見学ということで平川町の赤十字病院の隣にある工事中の老人ホームに見学に行きました。そこでは普段見ない壁の裏側や、まだむき出しの線などがあり、私達高校生ではなか

なか体験できない貴重な体験ができました。更に九電工では安全を特に徹底しており、その分現場でも大きな声飛び交ったり厳しく注意されていたり、現場の厳しさというものを知ることができました。

今回、3日間という短い研修期間でまだまだ学びきれなかった部分はありますが、作業現場を見て一人一人の責任感というもののが大切だと学ぶことができ、今後の生活や将来に向けてしっかりと身につけていきたいと思いました。



(公社)鹿児島県薬剤師会試験センター

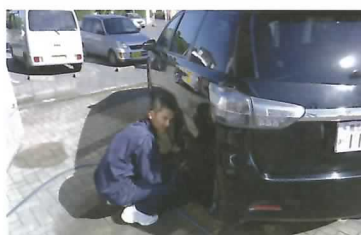
工業化学系 2年 中村 大介

私は、鹿児島県薬剤師会試験センターで3日間インターンシップを行いました。水質環境課、微生物課、食品医薬課で実験や作業などを行い、普段の学校ではできない体験をし、多くの知識を得ることができました。

学校で見慣れた器具の他、見たことのない機器が

あり、学校の設備ではできない分析などの実験ができました。学校の雰囲気ではなく、仕事場という違った環境での実験だったので本当に貴重な経験になりました。

今回のインターンシップでは、作業効率と正確さがいかに大切なことなのか実感することができました。短い期間だったので、本当の仕事の厳しさなど体験できませんでしたが、今回学んだことを学校生活や進路、実験に生かしていきたいと思います。



ネットヨタ鹿児島株式会社

電子機械系 2年 中園 旭

ネットヨタ鹿児島株式会社に様々なことを体験し、学ぶことができました。

一つ目は、洗車のコツです。いかに迅速に、気持ちを込めてするのか学べました。一日に6台洗車し、どの車にどのようなお客様が乗っているのかイメー

ジして作業するように心がけました。

二つ目は、整備の知識です。車検や部品交換など見学させていただき、各 부품の名称や用途、整備の仕方をゼロから学べました。

今回のインターンシップを通して、整備士の魅力と徹底した管理を改めて感じる事ができました。今後の進路に役立てていきたいと思っています。

株式会社つきの

インテリア系 2年 中野健二郎

インターンシップでは、現場を見学したり、壁をはく作業や倉庫の整理などをさせていただいたりしました。

今までは、建物内で生活している中で、壁や床など当たり前のように装飾されているものが、職人さんのプロの力によって成り立っているということな

ど知る由もありませんでした。しかし、インターンシップが終わった日、家に帰るとまず、私は壁と床を見つめ、この家もできるときは、あのような段階があったのだと思いました。

また、1番心に残っている言葉が「社会人は一生懸命が当たり前、その中でより濃く質の高い仕事ができるのがプロ」です。大変でも、よりよい仕事をするために一生懸命、仕事に打ち込む職人さんの現場に触れ、社会人の責任と大変さが少し分かった気がします。

JR九州 鹿児島駅

情報技術系 2年 松浦 正佳

私は、JR九州鹿児島駅でインターンシップを行いたいという希望が叶い、3日間という短い日数でしたが、そこで貴重な体験をすることができました。

主な業務内容は、改札での切符の受け取りや案

内放送等でした。また、最終日には竜ヶ水駅の清掃を行いました。

このインターンシップで多くのことを学びましたが、特に「元氣・挨拶・地道な努力」を大切にしなければと言われたことが強く印象に残っています。この3つは、普段の学校生活においても実践できることなので、自分自身が希望する進路を実現できるように心がけながら、今後の学校生活を充実したものにしていきたいと思っています。



修学旅行

12月2日（月）～5日（木）、3泊4日の日程で、長野、千葉、東京の修学旅行が実施され、2年生352名が参加しました。

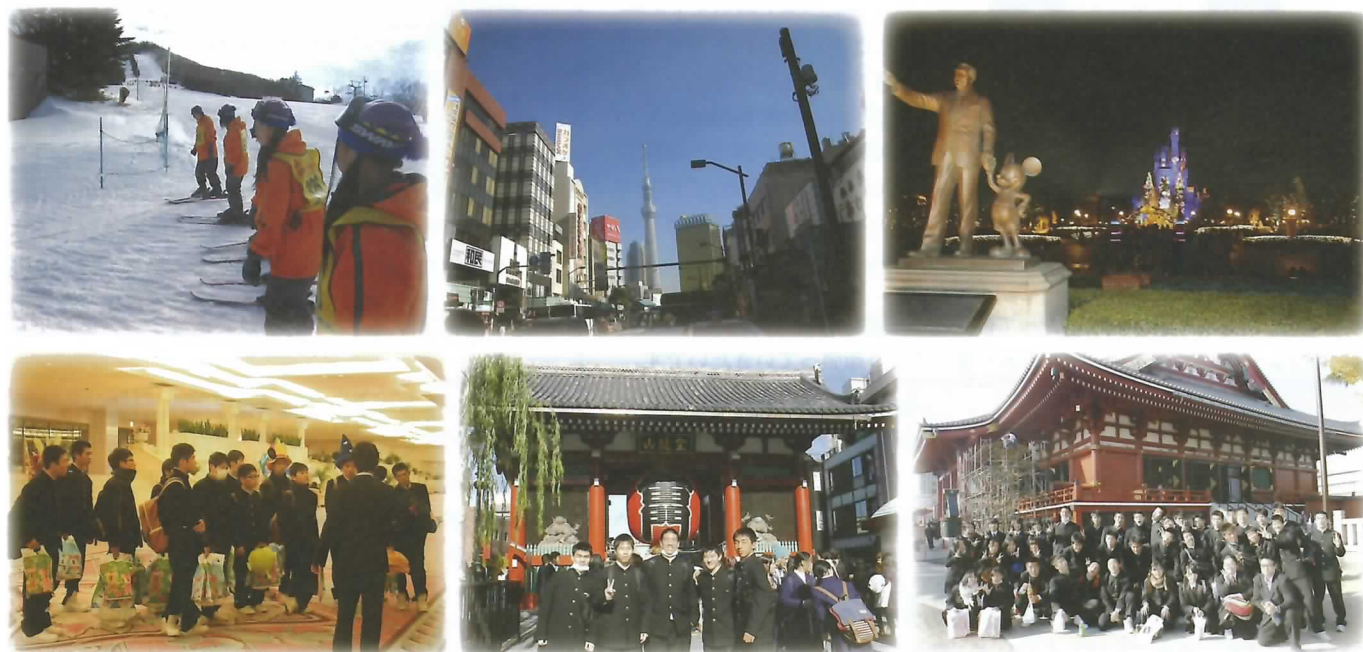
鹿児島では見たこともない一面銀世界のゲレンデや、リンゴが木になってる風景等に異文化の感動を受けました。ホテルに到着後、すぐにスキー教室が開かれ、上手くできない中にも充実感を感じているようでした。

2日目は、終日スキー実習でみるみる上達していく姿に、インストラクターの方々から「素直だからだね」とお褒めの言葉もいただきました。また、参加できない生徒は、そば打ち体験や善光寺観光など信州ならではの文化に満足しているようでした。

3日目のディズニーランドでは、主役以外のスタッフが、一生懸命に、しかも笑顔で接客やダンス、清掃など行うところに感激しました。

最終日は、各系ごとの研修が行われ、特色ある企業や建築物を訪問し、日常の学びを深めることができました。

今回の修学旅行での体験を通して、見聞を広め、クラス・学校の絆を深められました。この経験により、生徒たちの日常生活が、なお一層充実したものになることを願っています。



ボランティア活動

11月10日に開催された工芸村秋祭りへ、工芸美術部の一年生5名がボランティアとして参加しました。色々な体験コーナーがあり、私はステンドグラスコーナーの担当になりました。

体験内容は、ステンドグラスの端材等を組合せ、半田ごてではんだ付けをして、小物を作るというものでした。私も説明の為に一回体験したのですが、いつもしている紙に絵を描くのと違い、そこにある形を組合せて物を作っていくもので、とても新鮮に感じられました。体験者の方々へ半田ごての使い方を説明したり、ステンドグラスの組合せに悩んでいる方と話し合いながら作品の仕上げを手伝っている時など、さまざまな個性に触れることができ、自分や他の部員にとって良い勉強になる有意義な時間を過ごす事ができました。

工芸美術部 1年 原 彩乃



全国大会に向けて

弓道部 辻 智範（1年2組）

11月17日に鹿児島アリーナで鹿児島県高等学校選抜弓道大会が行われました。

個人戦では12射10中で決勝に進むことができ、決勝は計5名で射抜きを行いました。

保護者や仲間の心強い応援のお陰で準優勝という結果を残すことができ、12月21日から3日間大阪で開催される第32回全国高等学校弓道選抜大会に出場します。

感謝の気持ちを忘れず、1本で笑えるように頑張りますので応援よろしくお願いいたします。



メカトロ部 鬼塚俊太郎（電気技術系3年2組）

私たちメカトロ部は、11月に行われたジャパンマイコンカーラリー九州地区大会に出場し、見事優秀な成績で全国大会への出場権を獲得しました。全国大会は1月11日から12日にかけて北海道札幌市で開催されます。

全国大会では、日頃からお世話になった先生方への感謝の気持ちを胸に、九州地区大会よりタイム短縮を図り、「優勝」を目標に頑張りたいと思います。



卓球部 山口 拓矢
（電子機械2年2組）

私は先日行われた全日本卓球選手権大会県予選会に出場しました。何度か出場している大会ですが今回が一番厳しい大会になりました。その中で、ジュニア男子シングルスで優勝し、全国大会への出場権を

獲得することができました。

全国大会に出場するにあたって鹿児島工業卓球部として恥ずかしくないプレーをしていき、一勝でも多く勝てるよう頑張っていきたいです。

卓球部 岩城 友聖（1年4組）

私たち卓球部は全日本卓球選手権大会県予選会に出場しました。この大会は社会人を含め、とても厳しい試合になりました。その中で私は一般とジュニアのシングルス、混合ダブルスともに準優勝し、全国大会への出場権を獲得することができました。

予選会で全国大会への出場権を獲得できたのも、日頃からお世話になっている先生方や保護者の方々、OBの方々のご協力があったことだと思います。感謝の気持ちを忘れず1試合でも勝ち進みたいです。応援よろしくお願いいたします。

生徒指導部より

今、全国的に問題になっていることは「いじめ」と「ソーシャルネットサービス（SNS）によるネット上のトラブル」です。

「いじめ」は、いじめられた生徒がいじめと感じた行為は「いじめ」であり、相手の立場を無視するような言動や、度が過ぎる冗談等も、決して許される行為ではありません。今後も、自分の言動や友だちとの接し方について、継続的な指導を行いたいと思います。

ネットトラブルについては、現在「学校ネットパトロール」を実施する中で、犯罪につながるような事例は本校では起きていません。しかし、ツイッターへの書き込み内容に個人情報が入っていたり、プロフィールに個人情報が入っていたりしないようにしなければなりません。スマートフォンの使用については、利便性と危険性の再確認を行い、自分はもちろんのこと、他の人に迷惑をかけないように心がけてほしいと思います。

大会報告

第47回全九州高等学校新人卓球選手権大会
団体3位（全国大会出場）

第45回鹿児島県高等学校新人ボクシング競技大会

個人 フライ級優勝 M2-2 吉田 透真（九州新人大会出場）
ライトフライ級準優勝 K2 堂園 友哉（九州新人大会出場）
ライトウェルター級準優勝 In2 田中 裕也（九州新人大会出場）

第58回鹿児島県高等学校新人剣道競技大会

団体 ベスト8
個人 ベスト8 1-1 四宮 勇徳（九州新人大会出場）

建築部 「かごしま木の家をつくろう」設計コンペ

個人 優良賞 A2 武井 舜 1-9 樋渡 美咲
入選 A2 永田 一星

3学期の主な行事

1月8日（水）	始業式	1月30日（木）	卒寮式	3月3日（月）	第66回卒業式
1月9日（木）	PTA講演会・学年PTA	2月5日（水）	推薦入試	3月25日（火）	終業式
1月10日（金）	各系進路報告会	2月21日（金）～2月26日（水）	学年末考査	3月28日（金）	離任式
1月28日（火）～1月31日（金）	卒業考査	2月28日（金）	授賞式・同窓会入会式		



ホームページ <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kagoshima-T/top.html>
E-mail kagoshima-t-sh@edu.pref.kagoshima.jp
携帯用サイト <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kagoshima-T/mobile/mtop.html>